

少子高齢化問題



若い人の
元気が無い!



もっと只見の
情報を発信する!



これからの
只見
を考える

高校生が



空き家が多い



自然を生かした
イベントを実施する!



交通の便が悪い

ふるさと「只見」のために 自分たちが出来る事は何か？

「自分たちの町の為に何かできればいいな」という思いで集まった只見・南会津高校の生徒たちが7月から地域の問題を考え、その問題の解決方法を探る話し合いを重ねてきました。高校生は今まで生まれ育った町に何か貢献したいという強い思いはありましたが、地域課題を自分たちの力で解決することは難しく、ふるさとの為に自分たちには何が出来るのか、何をすれば良いのか悩み話し合いを重ねる中で、人間の元気の源「食」を生かした地域貢献ができないかと考えました。そして、地域の食材を使用した郷土料理コンテストを行うことを決めたのです。

これは若者が福島県の復興・再生へと積極的に関わり、社会参加の意識を高め若者中心の復興への取組を支援する県の若者ふるさと再生支援事業の一つで、NPO法人寺子屋方丈舎さん、只見名物「味付けマトンケバブ」を開発した目黒道人さんなどの力を借りて「只見ふるさとの雪まつり」で郷土料理コンテストの審査会を行います。

郷土料理コンテスト



in「只見ふるさとの雪まつり(2月15日)」

●目的

最近では、『B級グルメ』という言葉と共に地方で食べられている料理にスポットが当てられることが増えていますが、只見町、南会津町にもおいしい郷土食があります。この地域で採れる食材を使って老若男女を問わず食べやすい郷土料理の

レシピを考え元気の源である「食」を通じて復興への架け橋になることを目指します。

●審査

1次審査を通過した料理を雪まつり会場の皆さんに食べて頂き投票で賞を決定します。



ぜひ雪まつり
会場にお越し
ください!!

▲コンテスト実行委員の高校生の皆さんと目黒道人さん